

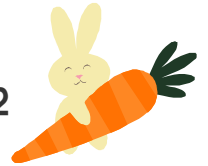


Dream24 通信

税理士法人Dream24

<http://www.hisanokaikei.jp/>

東京都江戸川区西葛西5-6-2 第28山秀ビル7F
TEL.03-5675-0831 FAX.03-5675-0832



期待と不安の2011年

明けましておめでとうございます。

お客様の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜びを申し上げます。また、平素より当税理士法人Dream24に対しましては格別のご理解、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、リーマンショックの影響がぬぐい去れず、新興国の経済発展によりプラス効果もありましたが、欧米の経済がギリシャ、アイルランド、スペインを筆頭に信用が落ち込み、経済が立ち直らず、米、日本でもデフレ回復せず、厳しい状況が続きました。

2011年の日本経済は新興国の成長が先進国に波及するなか、緩やかな回復基調をたどりそうですが、一方では、自動車や家電製品の購入を後押しするエコカー等の補助金制度の終了により景気対策が一巡し、景気悪化への警戒感も急速に広まっています。

2011年は卯年、辛卯(かのとう)七星金星の歳です。「辛」は物事に対する態度が厳しくなる、「卯」は犠牲を割く、ことを意味するそうです。これを仕事に置きかえると

- ①今迄の旧来のものに見切りをつけること
- ②そして新しい動きを付け加えること
- ③これまで未解決の問題を解決すること

何か新しいものを工夫し、考え、取り入れ、そして進歩する歳です。世の中が、環境が、悪い、そんなことはどうでもいいと考え、一人一人が自信をもち、一人一人が自分の「強み」を生かし一人一人がきらきら輝ける歳になる2011年です。経営者の皆様にとって今年一年の

キーワードは

- ①リーダー(経営者)が社員へ発信すること
- ②リーダーは体調管理に気をつけ、社員との良好な人間関係をつくること
- ③リーダーは有識者、現場にいる社員の意見を素直に聴くこと
- ④リーダーは積極的に甘やかさない社員教育に力を入れること
- ⑤リーダーは安心して働ける会社、環境を創ること
- ⑥リーダーは人生と仕事を充実させる、楽しむこと

また、占星術的にいいますと、2011年は、後継や絆を司る位置に土星が入行している歳にあたるそうです。経営的に言い換えますと

- ①身内企業、家業の引き継ぎ等の事業承継がすすむ
- ②お客様との絆をつくるのが経営において重要な意味をもってくる
- ③先輩、後輩、上司、部下との受け継ぎがすすむ

一人一人の経営者の皆様、努力を厭わず力を尽くしていけば、良い結果が生まれ、皆様の会社の経営が、世の中、環境に負けず、進んでいけるものと信じております。

また、私ども税理士法人 Dream24といたしましても、所長、所長代理、社員一同、従来にも増して、全員で考え、お客様の一人一人の悩みに解決を導いていくべく日夜一層の努力をしていく所存であります。

新しい年がお客様やご家族にとって良い年でありますように祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



所長 税理士
久野 豊美

顧問先拡大
ご紹介キャンペーン
実施中
どしどしご紹介ください。
お待ちしております。

会計事務所、税理士をお探しの方をご紹介下さい。
キャンペーン中にご紹介いただき、成約に至ったお客様に、
2万円分の各種商品券を進呈いたします。

ご紹介企業名・氏名 _____

ご紹介先住所 _____

ご紹介先電話番号 _____

ご紹介者の氏名 _____

「カップヌードルをぶつつぶせ！」

法務課 深尾 方子

「カップヌードルをぶつつぶせ！」は、日清食品の二代目社長安藤宏基が書いた文庫本の題名です。最近読んだのですが、典型的サラリーマンの娘として育った私には、経営者の一端を覗いたちょっと面白い本でした。

日清食品の創業者は安藤百福、チキンラーメンを発明し、カップヌードルを世に出した人です。創業者は異能の人、二代目は凡能の人、父・安藤百福との確執や、新製品を開発すべく社内改革をし、独自のマーケティング戦略でブランド化を推し進める二代目の自伝的経営哲学書です。

日清食品と云えば今は大企業のイメージですが、創業時には、安藤家の家具に赤紙が貼られたこともあった由、また安藤宏基は百福の次男で正確には日清食品三代目社長、二代目は百福の長男で僅か2年で経営方針が創業者と合わず社長を辞しています。

年間日清食品だけでも300余りの新製品が生み出されている一方で、「食品はおいしすぎではいけない。少し余韻を残すことによって、再購入につながる」という秘訣。おいしいビーフステーキをたっぷり食べた後は、1、2週間くらいはステーキを食べ、る気にならないのが普通レストランのステーキなら二週間に一度でもいいが、加工食品はそれではリピートにつながらないの困るとある。加工食品は量も味もほどほどがいいとされているそうです。お腹いっぱい食べると「満腹感」が大きすぎるのと同じ。もう少し食べたいと思うあたりの余韻を残すのが売れる秘訣とくる。こんなふうを考えているのかと驚いた次第です。

「十二支のお話」

総務課 関口 知加

十二支には、お話があるのを知っていますか？



昔々の大昔のある年の暮れのこと、神様が動物たちにお触れを出したそう。 「元日の朝、新年の挨拶に出かけて来い。一番早く来た者から十二番目の者までは、順にそれぞれ一年の間、動物の大將にしてやろう」 動物たちは、おらが一番とて、めいめいが気張って元日が来るのを待っておった。ところが猫は神様のところにいつ行くのか忘れてしまったので、ねずみに訊くと、ねずみはわざと一日遅れの日を教えてやった。猫はねずみが言うのを間に受けて、喜んで帰っていったと。 さて元日になると、牛は「おらは歩くのが遅いだて、一足早く出かけるべ」と夜のうちから支度をし、まだ暗いのに出発した。牛小屋の天井でこれを見ていたねずみは、ぼんと牛の背中に飛び乗った。そんなこととは知らず、牛が神様の御殿に近付いてみると、まだ誰も来ていない。我こそ一番と喜んで待つうちに門が開いた。とたんに牛の背中からねずみが飛び降り、ちよろちよろと走って一番になってしまった。それで牛は二番、それから虎、兎、龍、蛇、馬、羊、猿、犬、猪の順で着いた。猫は一日遅れで行ったものだから番外で仲間に入れなかった。それでねずみを恨んで、今が今でもねずみを追い回すのだそう。

私は、この十二支のお話を幼稚園の時に読んでいた絵本の中でとっても好きだったので、何度も読んでいました。小さい頃に心に残って覚えた記憶は、大人になってもずっと覚えていてるもんなんです。 私の大切な幼稚園の時の思い出です♪

「お正月の食べ物」

総務課 湯浅 碧

1日 おせち料理・雑煮・祝い酒

今年一年に願いを込め、食事の中に祈りと感謝と医食同源の役割を含ませ、主婦の仕事をねぎらい、家族の団欒や 繁栄を年の初めに願います。

7日 七草粥

子供のころに覚えた春の七草は、早春にいち早く芽吹くことから邪気をはらうといわれ、無病息災を祈ります。おまじないのようですが、実は理にかなった習慣だそうです。なぜなら、七草は、いわば日本のハーブなので、正月疲れが出始めた胃腸の回復にちょうど良いのです。

15日 どんど焼き(地方によって呼び名が違う)

祈禱した神札と共に、正月飾りや書初めの努力目標などを一緒に燃やして、垣根の落ち葉などを清掃しつつ、たき火の暖と周囲の方々との無病息災を願う、町のイベントです。

大寒 生みたて卵

昔から「大寒の卵は滋養に富んでいるので、食べると健康に暮らせる」と言われていました。また最近人気の風水では、「大寒の日の卵を食べると、金運が上昇する」と言われており、大寒生まれの卵は人気急上昇中です。



食べ物を通して、今年1年が皆、健康で暮らせるように、と願う行事がたくさんあるこの日本の文化は、誇れるものだと思います。正月太りに気を付けながら、1月を堪能したいと思います。皆様にとって、素晴らしい1年になりますように。